



ひよどりっ子

第38号
H25.10.6

北区青少年育成協議会ひよどり台支部
発行責任者: 支部長 高橋 貞美
TEL・FAX 7 4 3 - 0 6 4 1
編 集: 有限会社スタジオビーワット

人と共に学び、地域と共に育つ

ひよどり台小学校教頭 鎌谷 尚夫

昼間の日差しはまだまだ厳しいものがありますが、朝夕ずいぶんと涼しくなり過ごしやすくなってきました。運動場では、間近に迫った運動会の練習にどの学年も余念がありません。

私はこの春に、ひよどり台小学校に赴任して来ましたが、7回目の異動になりました。すべて市内の異動ですが、それぞれの区や地域によって町の雰囲気や様子がずいぶんと違います。特に、ひよどり台の地域と、ほかの地域との間で異なっていることがあります。それは、学校に関わっていただいている人の数です。毎日、登校時に地域の方が交通当番に立ってくださっているだけでなく、日中は学校に見守り当番として来られていること、教室に学習支援や図書支援として多くの方が入っておられること、それも算数や国語の支援だけでなく、英語活動や習字の支援にまで来られていること。金曜日には子どもたちと一緒に下校していただいていることなどです。それ以外にも、プール水泳時の支援や、ひよどり学級の支援など、実にいろいろな場面でひよどり台の人たちが、学校や子どもたちに関わっていただいています。大変ありがたいことだと思います。また、これほどたくさんの人たちが関わっておられることに驚いています。

今の子どもたちを見ていて感じるのですが、少子化や核家族の影響もあり人、特に大人と関わる場面がずいぶんと少なくなっています。その弊害が様々なところで問題となって表れています。

しかし、ひよどり台の子どもたちを見てみると、教室や校内だけでなく、地域でも、自然にたくさんの人と関わっているように思います。地域の方たちのおかげで学校の授業だけでは得がたい学習や体験をさせて貰っていると感じます。本校の教育目標は「人と共に学び、地域と共に育つ」ですが、その通り、子ども達はひよどり台の地域で学び成長していっているといます。

どうぞこれからも、ひよどり台の子どもたちが健全に成長していきますように皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

山の学校での子ども達

ひよどり山の学校代表 澤田千賀子

山の学校では、毎年小学5・6年生の子ども達と6月、12月の年2回いっしょにバス道の斜面の草刈りを実施しています。

今年は141名の子ども達が福祉センター前に集合して最初の挨拶をしてからみんなで草刈りの斜面に移動して、チップ運びをするクラスと草刈りをするクラスに分けられました。

5年生にとっては初めての草刈り、鎌の持ち方から草の刈り方を大人達に教えてもらいながらの草刈りの開始、子ども達の中には草刈りの途中、虫を見つけて夢中になる子、大人に使い方を教えてもらいながら一生懸命草刈りする子、友達とおしゃべりしながら草刈りする子、でも時間がたつにつれてみんなだんだん手つきも慣れ、自分の草を刈った場所がきれいになってきました。

草刈りした草をがんじきや手で集めてシートや一輪車で運ぶのも仕事です。一輪車で何回も往復してくれた子、シートに草をたくさん入れてみんなで運んでくれた子もいました。

今回はチップ運びもしました。チップをバケツに入れる子、バケツリレーでそのチップを運ぶ子に分かれて木の根元にチップを置きました。チップ運びは大勢の人数がいるのでほんとうに子ども達の力は助かりました。

最後の仕上げは、みんなで一列に並び上から下へ残っている草の草刈りです。

- 子ども達の感想では、
- ①最初はしんどいのでいやだなあと思っていたが、みんなで協力すればできる。
 - ②暑いのでいやだなあと思っていたけどきれいになってよかった。
 - ③やればできる
ということばを何人も子ども達が発表してくれました。



2学期になって運動会・音楽会と大きな行事があるので草刈りの時の感想の気持ちを思い出して協力したらできるよ。やればできるよと下の学年の子たちにリーダーシップを発揮してお手本になってほしいと思います。

秋を楽しむハイキング

ひよどり山プレーパーク共催



日時 11月10日(日) 午前9時集合
場所 ひよどり台中央公園⇔しあわせの村
参加費 こども: 200円 おとな: 500円
参加申込 学校などで配布の申込書で10月17日までに



さわやかな秋の一日をご家族・友だちとハイキングの後、みんなで楽しくバーベキュー。

日々思うこと

エコタウンクラブ代表 安部 俊美

自分は都会育ちの方だと思いますが、それでも小さい頃家の中でクモやヤモリ、カナブンなどを目にすることも多く、川べりや野原・空地などで草花や生き物たちと遊んだなつかしく楽しい思い出などもあります。ひよどり台には川や田んぼはありませんが緑は豊かで恵まれているところです。

夕方花壇の手入れをしていると、公園の山の中から子供たちの大きな声が響いてきて、生き生きと楽しそうな様子に、こちらまでうれしくなります。身の周りにごく普通に自然とふれあう機会があるというのは、人の成長にとってかけがえのないものだと思います。

しかし私たち大人にとって「便利で快適」な生活を追求してきた結果、今の時代の子どもたちは生まれてきた時から居心地の良い、人工的なものに囲まれた生活をしています。子供たち自身が工夫して作って遊ぶことが少なくなりました。



ゲームなどに時間を費やすことが多くなり受け身の遊びになっています。それは自然の中に身を置き、自らの五感を働かせることによって得られるさまざまな感動や体験が、その人なりの感性や能力を伸ばしていくのだと思うのですが、そのような機会が減ってきているということでもあります。生き物としての人間にとっては不幸なことかもしれません。

人間も地球上に生きている命あるものの一員であることを、ごく自然に体得していける環境を守っていきたいものです。「生きる力を育む」土台になるもの一つは自然体験だと思います。自然のやさしさ、不思議さ、反対に時には過酷さ、怖さなどそこには自ら学びたい思いが生まれるきっかけになるものがいっぱい。

未来の子供たちに昔の私たちのような体験ができる生活環境を残しておきたい、身の周りの土・水・空気をこれ以上汚さないでおきたい、そのためにはどうしたらいいのか、を考え、行動する人が増えていってほしいと思っています。大きく言えば「地球温暖化防止」ですが、身の丈にあった日々の「ごみ分別・リサイクル」から節水・節電をあたりまえのこととして心がけていきたいものです。

不 易

鴨台中学校教諭 高田 恭弘

私は、今年度で教師という職業に就いてから14年目になります。気がつけば若手教員から中堅と呼ばれるような年齢、立場となりました。振り返れば、14年間でたくさんの生徒、保護者、地域の方、同僚の先生方と関わり、多くのことを学ばせていただきました。この機会をお借りして、今の私の血となり肉となっている言葉を3つ紹介したいと思います。(これら以外にもたくさんあるのですが…)



「先生にとっては、長い教師生活の中の1人の生徒に過ぎないかもしれないが、この子にとっては、かけがえのない中学校生活の先生なのです。」この言葉は、私が初めて教壇に立った頃、ある保護者からおっしゃっていただいた言葉です。まだ、20代前半の若かった私は、教師としての責任や覚悟が足りていなかったのでしょうか。教師が生徒を預かることの意味や保護者の子どもにかける思いを教えていただけた言葉です。

「準備をすること、させることを。」これは、「どんな軽微に思える仕事でも、プロとしてしっかりと準備をしておかなければ中身の無い教育活動になる。そして中身の無い教育活動で生徒、保護者を振り回すのはプロとして恥ずかしいことである。」ということ、先輩の先生から教えていただいたときの言葉です。また、この言葉には、「生徒にも学校生活を送るための準備をしっかりとさせないといけない。」という意味があります。正しい服装、持ち物、心…、それらを生徒自身が準備して登校してくることによって、積極的な健全育成がなされるのです。

「企業の中には利益がある、教育の中心には愛がある。」これはある地域の方から教えていただいた言葉です。学校という所は、企業とは違い直接的な利益(お金)を生み出すことはありません。だからこそ、愛を核として教育し、生徒を成長させていかなければならないと教えられました。

私には、まだ20年以上、教師として働ける時間があります。先人の思いを「ひよどり台」の子どもたちに、これから出会うすべての生徒に伝えていくことが、きっと、私を育ててくださった人々が、教師に期待していることでしょう。

子どもまつり

(だるまさんが転んだ；中2=渡邊 夏乃)

今日は生徒会として大きな行事は初めてでちょっときんちょうしていました。準備は短時間で終わったので良かったです。一人じゃできない仕事だったので、小学校PTAの人が手伝ってくれてうれしかったです。優しく話しかけてくれました。「だるまさんが転んだ」で、小さい子とかは楽しそうにやってくれてうれしかったです。みんな笑顔で参加してくれました。

(ドッチボール；中2=向井 梨乃)

今回、前日雨が降っていたのでとても不安でした。雨が降るのではないかと思っていました。Aグラではいくつかのグループがやっていて、とても盛り上がっていました。

子供たちにボールがあたってしまいケガをってしまった子がいました、それでも「やる！」と言ってくれて、とてもうれしかったです。私がトライやるウィークで担当した児童館の子も来ていて、ひさしぶりに会えてとてもうれしくて、たくさんしゃべることもできました。来年の春の子どもまつりももう部活も終わっていて、テストも終わり卒業式も終わっていると思うので、また来年もしたいと思います。やらしてもらえて楽しかったです。



(人間すごろく；中2=戸羽 泰基)

僕は、今回のふれあい春の子どもまつりで、最初、積極的に参加できなかったけど、最後のさいころを作る時には参加できたのでよかったです。その後、昼ごはんでカレーを食べてとてもおいしかったです。おかわりできたのでよかったです。

そして本番がやってきて、班のわりふりをしたあと、人間すごろくをしました。そして僕が思ったことは、班に入っていない人がポイントゲームに入りたそうにしているも入れなかったことで、かわいそうだなと思いました。

(ストラックアウト；中2=山下 凌馬)

用具を作るところからでしたけど、作り方が分からず少しとまどいましたが、しっかり作れました。している時、待っている子にボールの箱を渡したり、ボール拾いをしたり、色々大変でした。でもその分色々な人とふれあえたので良かったです。今回18人いて、いろんな役割があったりしてとても充実した春の子ども祭りだったと思います。

(空気いす；中2=鷲尾 翔馬)

苦労したこと；
あまりお客さんがこなくて呼ぶのに苦労しました。空気いすの楽しいところをどうやって伝えればいいのか考えるのに苦労しました。

楽しかったこと；
親子や中学生が競争してくれてうれしかったです。楽しく空気いすしてくれてうれしかったです。意外に人が来てくれたので呼びかけたかがありました。

(もぐらたたき；中2=渡辺 愛香)

私は吹奏楽部なので、午前中の準備とグループ分けは行けなくて少し残念です。

でも、途中から来た時にすごく盛り上がっていて、特に自分のコーナーに人がいっぱい集まっているのを見た時はすごくテンションが上がりました。

「もぐらたたき」の担当だったので小さい子はやりにくくてあまり来れないかなと思っていたら、意外とたくさん来てくれてびっくりでした。また、高学年の子もかなり熱心にやってくれたので準備をしたかがあったなと思いました。また、最高記録を掲示すると、それを目指して一生懸命になっていたの、次にこのコーナーをやる人は、少し面倒だけどやってほしいなと思います。

(フリースロー；中1=牧本 匠未)

僕は、春の子どもまつりの手伝いは今回が初めてでしたがいきなりフリースローの担当をしろと言われて少しとまどいましたが、なるべくやってくる人を楽しませるためにと仕事をしていました。その結果、来る人皆が楽しんでくれたと思います。

ただ、最後にボールがとんでいってさがすのに苦労したので、来年からはボールがとんでいってもさがしやすい場所にしてほしいです。

(らくがきランド；中2=竹内 春奈)

今回初めて春の子どもまつりの準備に参加してみて、驚くことや気付くことがたくさんありました。まず一番驚いたこと

は、こんなにも時間をかけて準備・実施をするということです。

当日の実施では「仲間づくり」のコーナーであみだくじをした時が一番大変だなと感じました。人数が多く、相手が小さいこともあって言いたいことが伝わりにくく、チームを教えるのに苦労しました。

ゲームでは「らくがきランド」というゲームを手伝わせてもらいました。見本用で書いた絵を、来た女の子がもらってくれた時は、描いたかがあったなあ、と嬉しくなりました。



子どもまつり



「いつも心に 太陽を！」

ひよどり台小学校養護教諭 照井恵美子

ひよどり台小学校の保健室で子どもたちを見つめ続けて、早7年目になります。ひよどり台小学校の子どもたちは、とても明るく元気で私は大好きです。

私が養護教諭として一番大切にしている事は「笑顔」と「温かい言葉かけ」です。子どもたちが、私の「笑顔」を見て「にっこり笑う=微笑返し」そして、私の「言葉」に「ありがとう」と笑顔で答えてくれる。そんな関係づくりを目指しています。けがや病気の手当てはもちろんのこと、子どもたちが安心して笑顔で教室に戻れるようにサポートしたいと願っています。

私には、小学2年生の双子がいます。仕事で遅くなる日が多く、子どもたちと過ごす時間は短いものです。夕食作りをしながら、宿題チェックをする…。毎日目が回る忙しさです。でも、子どもの話を聞く時は必ず「子どもの目を見て」「相槌をうちながら」聞くようにしています。そして、常に「いいね！頑張っているね！」と褒める瞬間を見つける努力をしています。頑張っている事、良い行動を目にするとタイミングよく褒める！すると子どもは、「また次も頑張るぞ」と俄然張り切ります。いい行動はたくさん褒める、ダメな行動はダメとストレートに子どもと向かい合うこと、そこに愛情もプラスして。



私の座右の銘は、「いつも心に太陽を！」です。広い空を明るくいつも照らしてくれる太陽のように、明るく元気な心でいたい、そして、周りの人に「照井先生と話しをすると元気になるわ！」と言われるような自分でありたいと思います。そんな自分に近づくために、相手の気持ちに立って共感し考え、子どもたちと共に日々成長していきたいと思います。

ひよどり台支部活動報告

- 25.3/15 青少協支部役員会
- 25.3/23 第31回ふれあい春の子どもまつり
1月からの子ども実行委員の熱意のこもった準備により、多くのゲームが準備され、当日は初めての試みとしてオープニングに中学のプラスバンド、閉会は小学校のひよどり台太鼓で締め、大勢の子どもが参加し、保護者が駆けつけていただきました
- 25.3/27 北区青少年フェスタ(ありまホール)
鴨台中学校吹奏楽部が北区の「地域で子どもたちを語る賞」を受賞
- 25.4/30・6/4 青少協支部役員会
- 25.5/25 兵庫県青少年フォーラム
- 25.5/27・7/9 ひよどり台っ子応援団運営委員会



- 25.6/4 青少協北区理事会
- 25.6/9 25年度支部総会(25年度のスタート)
- 25.6/25 児童館運営委員会
- 25.7/10 北区青少協支部長会
- 25.7/19 社会を明るくする運動講演会
- 25.7/20 エポック夜店
- 25.7/22・8/13 ラジオ体操
- 25.7/27 しあわせの村まつり
- 25.8/17 ひよどり台夏まつり
- 25.10/6 青少協第2回支部会議、
広報紙No.38発行(団地内全4,000戸に配布)
登校時毎日の通学路の交通安全指導
定例の夜間パトロールに加えて、夏休み中の7/20のエポック夜店、7/27のしあわせの村まつり、8/17ひよどり台夏まつりのパトロールを小・中学校PTAの方々と実施
夏休み中学校PTAの夜間パトロール
子ども110番の家・店……小学校PTAのご尽力で、現在南町を合わせて128か所のご協力をいただき地域内に所在するようになりました
ひよどり台小学校の子どもたちを見守る会
ひよどりっ子のびのびひろば1・2年生毎週木曜日
ふれあいのまちづくり協議会
ひよどりふれあい懇話会
ひよどり台元氣クラブ
ひよどり台交流プラザ

今後の予定

- 25.10/20 ひよどり台ワイワイフェスタ
- 25.11/10 秋を楽しむハイキング(しあわせの村)
デイキャンプ場で実施。詳しくは別に、学校・保育所などを通じてお知らせします
- 26.1/13 どんどまつり
例年通り竹伐りに中学生の応援を得て、青少協の各種団体の皆さまの協力で実施予定
- 26.2/23 第3回支部会議
広報紙No.39発行(団地内全4,000戸に配布)
- 26.3/15 第32回ふれあい春の子どもまつり

編集後記

秋の行事をお知らせする号です。2学期早々のお忙しい中でのお願いにもかかわらず、原稿の執筆にご協力いただきありがとうございます。紙面をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

子どもの感想文もご覧願います。(小学校PTA)